

第5次総合計画前期実行計画事業の仮評価と方向性について

NO	事業名	成果目標(仮評価)	コメント	方向性	後期の視点
1	西原自然の森活用事業 (里山体験事業編)	①新規ボランティアスタッフの確保 10人以上(3人) ②里山体験イベントの実施 年3回以上、参加者 100人以上 (年1回、600人) ※関係3課の連携による「西原自然の森フェスタ」を開催し、若い世代のボランティア確保や特有の環境資源(竹)を活用した複数のイベントを実施。	「西原自然の森フェスタ」により、エリアの魅力や価値の向上が図れた。今後は、西原自然の森を管理する郷土資料館が中心となり、魅力向上に取り組む。	終了	
2	西原自然の森活用事業 (移築民家活用編)	新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上(年1回) ※関係3課の連携による「西原自然の森フェスタ」を開催し、「旧加藤家」「旧齋藤家」「旧進修館」それぞれの特性を生かした音楽活動や文化財展示、体験講座等を実施。	「西原自然の森フェスタ」により、エリアの魅力や価値の向上が図れた。今後は、通常業務の中で利用者の安全に配慮しつつ適切な活用を継続。	通常業務	
3	新しい村魅力アップ事業	新しい村魅力アッププランの策定(令和4年度策定)	プランに基づくソフト・ハード事業(農業教育・研修機能の検討、直売所機能の強化、情報発信機能の強化)を継続。	継続	
4	集落で支えあう営農事業	宮東・中島地区における20ha以上の農地集積化と基盤整備100% (令和9年度完了予定)	基盤整備工事の継続。基盤整備後は水路の整備や担い手の確保などに取り組み、効果的かつ効率的な農業経営を推進。	継続	農地保全・付加価値化 ・経営農地面積の維持 ・新規参入者の確保 ・特産品作物の開発
5	宮代農業人材育成事業	新規就農者の確保 5人以上(2人)	若手農業者の育成を継続するとともに、新しい村の魅力アップや宮東中島圃場の担い手、特産品や返礼品開発につなげるための人材募集・育成を実施。	継続	
6	東武動物公園駅西口 わくわくロード事業	東武動物公園駅西口わくわくロードの完成100% (令和7年度完了予定)	東武動物公園駅東口と合わせて整備を継続。まちづくり建設課と産業観光課との連携により、駅周辺や新しい村までの面的な賑わいづくりを実施。	継続	駅～動物公園～新しい村までの賑わい創出

第5次総合計画前期実行計画事業の仮評価と方向性について

NO	事業名	成果目標(仮評価)	コメント	方向性	後期の視点
7	まちなかどこでも ミュージアム事業	飲食店等やアーティストが主体となった「みやしろ芸術祭」の開催 年1回以上(令和5年度から年1回開催)	アートに関する情報発信や備品貸出、補助金制度などアーティスト活動のサポートを継続。引き続き、芸術祭の開催や地域の賑わいを創出。	通常業務	
8	みやしろズームアップ プロジェクト	地域特派員 10人(11人)	地域特派員制度の充実を図るとともに、シティプロモーションの視点を含めた戦略的な情報発信を実施。	継続	町の知名度向上
9	遊休資源活用 プロデュース事業	活用実績 10件(10件以上)	公有財産利活用方針及び庁舎遊休スペース活用計画に基づき、今後は通常業務として利活用を継続。	通常業務	
10	岸辺遊歩道整備事業	公園・遊歩道の整備 満足度50% ※住民意識調査 令和元年度43.6%(令和6年度調査 44.5%)	和戸踏切立体交差事業及び人道橋整備など県事業の進捗にあわせて整備する必要がある、今後は、通常業務として県事業の進捗を踏まえながら遊歩道の整備を実施。	通常業務	
11	地域のオリジナルパークを つくろう!	公園の整備 2か所(令和6年度までに2か所完了予定)	地域が主体となるオリジナルパーク整備は一旦完了(終了)。今後は、公園管理業務の中で、公園遊具等の更新・修繕を継続。	通常業務	
12	宮代型デマンド交通事業	高齢者が外出を控えている理由「交通手段がない」10%以下 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 令和元年度 15.8% (令和4年度調査 6.8%)	循環バス、タクシー、新たな地域公共交通の取組それぞれの効果や課題を検討し、最も効果的と思われる組み合わせにより事業を継続。	継続	交通需要の充足

第5次総合計画前期実行計画事業の仮評価と方向性について

NO	事業名	成果目標(仮評価)	コメント	方向性	後期の視点
13	広域道路ネットワークの整備(都市計画道路整備)	①(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備完了(令和7年度までに完了予定) ②(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定(令和4年度に決定)	春日部久喜線(町道第252号線)の延伸、万願寺橋通り線(町道第75号線)整備及び県が実施する新橋通り線(町道第148号線)整備の支援を継続。	継続	継続
14	東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	①東武動物公園駅東口駅前広場の完成100% ②東武動物公園駅東口通り線の完成100%(いずれも令和10年度に完了予定)	東武動物公園駅西口と合わせて整備を継続。まちづくり建設課と産業観光課との連携により、駅周辺や新しい村までの面的な賑わいづくりを実施。	継続	継続
15	和戸駅周辺活性化事業	①土地利用・事業手法の決定 ②事業区域の決定(いずれも和戸駅周辺地区 2箇所において決定)	見直しも含め検討を進めている土地利用方針に基づき、町内全域において産業系土地利用を推進。	継続	産業誘導 ・税収増 ・就業機会の確保
16	姫宮駅西側周辺活性化事業	(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定(令和4年度に決定)	見直しも含め検討を進めている土地利用方針に基づき、町内全域において産業系土地利用を推進。	継続	
17	地域の力となる地区コミュニティセンター事業	地区コミュニティセンターの開設 2か所 ※開設にあたっては、前期実行計画「宮代町立小中学校適正配置事業(須賀小学校地域拠点施設整備)」の進捗に合わせて検討・準備を行うこととする。(令和10年度に1箇所設置予定)	地区コミュニティセンターの開設に向けた準備を進め、整備後は「進修館オープンカレッジ」「チームみやしろ会議」などの要素も取り入れ、地域づくりを担う人材やグループの育成・発掘など、地域のコミュニティ力向上を図る。	継続	継続
18	小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	町の支援策を利用した起業者 15人以上(14人)	今後は、通常業務として補助金制度対象エリアの拡充など起業創業支援を継続。	通常業務	

第5次総合計画前期実行計画事業の仮評価と方向性について

NO	事業名	成果目標(仮評価)	コメント	方向性	後期の視点
19	身近な場所で 子育てサロン事業	地域主体の子育てサロンの運営 3か所以上(4か所)	リニューアル後の子育て支援サイトの活用や補助金制度の区分の見直しなどにより、サロンの運営支援を継続。	継続	継続
20	地域のみんで こどもたちの 居場所づくり事業①	①子どもの居場所づくり活動 3か所以上(4か所) ②子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築 (令和7年度完了予定)	居場所づくり活動団体同士のマッチング、横の繋がりがりづくりなどにより、既存・新規団体が継続的に活動できるよう支援を継続。	継続	継続
21	地域のみんで こどもたちの 居場所づくり事業②	常設の教育支援センター(適応指導教室)の設置 (令和3年度に設置)	これまでの運用実績を踏まえ、学校や関係各課、諸機関との連携強化を図りながら、教育支援センターの管理運営を継続。	継続	継続
22	進修館オープンカレッジ	新たなグループ 10団体(5団体)	「地域の力となる地区コミュニティセンター事業」の中で、地域課題の解決に向けた地域づくりを担う人材やグループの育成・発掘、地域のブランド力向上を図る。	終了	
23	おかえりなさい！ 地域デビュー事業	地域活動を始めた人 100人(100人以上)	高齢者の生活支援につながる人材確保・育成に向けて、講座・交流会の見直しや若い世代の加入促進を図りながら事業を継続。	継続	継続
24	西原自然の森活用事業 (新たな福祉の 拠点づくり編)	①ボランティアの育成 50人以上(約180人) ②福祉推進員の確保 30人以上(約850人) ③福祉団体の連絡ネットワークの発足(令和4年度に発足)	前期実行計画事業により福祉の拠点としての魅力や価値の向上が図れたとして3課連携事業は終了。今後は社会福祉協議会が主体となりボランティアの育成・確保、交流機会の創出を継続。	終了	

第5次総合計画前期実行計画事業の仮評価と方向性について

NO	事業名	成果目標(仮評価)	コメント	方向性	後期の視点
25	若い世代の健康づくり促進事業	20代～40代で健康づくりに取り組んでいる人の割合 令和3年度アンケート調査から10%増(令和7年度に調査予定)	ターゲット層の拡大や実施内容の見直し、官民連携の取組を推進するとともに、住民課とのさらなる連携強化により事業を継続。	継続	健康づくりのまち全体への広がり
26	人権・平和推進事業	人権・平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合 80%(80%以上)	社会環境や各種制度、他自治体の状況を踏まえて、人権や平和に関する啓発活動を継続。	継続	継続
27	チームみやしろ会議	チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生 年3件(令和5年度5件、令和6年度上期10件)	「地域の力となる地区コミュニティセンター事業」の中で、地域課題の解決に向けた地域づくりを担う人材やグループの育成・発掘、地域のブランド力向上を図る。	終了	
28	みんなで備える防災力強化促進事業	①自主防災会訓練実施率 100%(100%) ②我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成率 50%(令和7年2月に全自主防災会の代表者が作成)	若い世代の防災力向上や災害時要支援者支援などの新たな課題を踏まえ、関係課や関係団体とさらなる連携強化を図りながら事業を継続。	継続	公助・共助の体制強化 自助の情報提供
29	高齢者困りごとサポート隊事業	新たな助け合い活動を実施するグループ 5団体以上(4団体)	既存グループの継続的な助け合い活動の支援と地域のニーズを踏まえた新規担い手発掘を継続。	継続	継続
30	日工大サイエンスプロジェクト	理科が好きという児童生徒 80%以上 アンケート調査(令和6年度集計中)	授業の実施結果を踏まえ、日工大とともにプロジェクトの内容や方法を見直しながら事業を継続。	継続	継続

第5次総合計画前期実行計画事業の仮評価と方向性について

NO	事業名	成果目標(仮評価)	コメント	方向性	後期の視点
31	公共施設 マネジメント計画2.0	公共施設マネジメント計画2.0の策定(令和3年度に策定)	公共施設マネジメント計画をはじめ、公共施設等総合管理計画や個別施設計画等に基づき、公共施設の更新や再編の検討を継続。	継続	百間小学校、公民館などの方向性決定
32	宮代町立小中学校 適正配置事業	①審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し(令和3年度に見直し等実施) ②見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施(令和4年度から須賀小学校地域拠点施設整備を実施)	須賀小学校地域拠点施設整備の継続、令和9年度以降に適正配置計画の検証、百間小学校再編方針の検討を実施。	継続	